



上越市第2次地球温暖化対策実行計画を策定

温室効果ガス排出量を削減し、脱炭素社会を実現するため、市は令和5年2月に計画を策定しました。



詳しくは

基本方針1 化石燃料からのエネルギーシフトを推進します

令和5年度の主な取り組み

- ・有田小学校に太陽光発電設備を設置
- ・公共施設への太陽光発電設備の設置検討
- ・市内での小水力発電の可能性の調査



太陽光発電設備が設置されている豊原小学校

基本方針2 脱炭素型ライフスタイルを推進します

令和5年度の主な取り組み

- ・国や新潟県の支援制度を利用し、新築のZEH（家庭で使用するエネルギー収支を実質ゼロ以下にする住宅）に太陽光発電設備を導入する市民を支援
- ・新潟県や環境団体と連携し、啓発事業や環境イベント、学習会を開催



県の脱炭素啓発事業「緑の陣」でグリーンカーテンを育成中

基本方針3 脱炭素社会に対応したまちづくりを推進します

令和5年度の主な取り組み

- ・中小企業などによる脱炭素経営に向けたコンサルタントへの相談や省エネ診断の受診を支援
- ・産業界を交えた脱炭素社会実現に向けた推進体制を構築

できることからやってみよう!

身ノ周りノイロイロナコトガ脱炭素ニツナガルヨ!



にいがたゼロチャレ30

新潟県では、温室効果ガスの排出を少しでも削減し、将来の世代に自然豊かな環境を引き継いでいくために私たち一人一人ができる取り組みを「にいがたゼロチャレ30」としてまとめています。今回はこの中から3つを紹介します。

宅配便はなるべく1回で受け取る!



日時の指定や置き配、コンビニ受け取りを利用して、再配達で使うムダなエネルギーを減らしましょう。

暮らしに植物や木を取り入れよう!



植物や木は、調湿作用や一定の断熱性があります。おうちで植物や木を育てたり、夏はグリーンカーテンを活用したりすることで快適に過ごせます。

地産地消!新潟の旬のものを食べよう!



地元の旬のものを選び、フードマイレージ(食料の輸送距離)を抑え、ビニールハウス栽培などで必要とするエネルギーを減らしましょう。

アプリで楽しく「ゼロチャレ30」!

アプリで「ゼロチャレ30」に取り組み、スタンプを5個集めて応募すると、県内30市町村の特産品(1万円相当)が当たるキャンペーンを実施中!
※第1弾の応募期間は9月末まで。



Google Play



App Store

特集

地域の未来のために

脱炭素社会の実現に向けて

■問合せ…環境政策課 (☎025-520-5689)

近年、世界各地で記録的な高温や大雨など、地球温暖化による影響と考えられる異常気象が頻発しています。令和元年8月に高田の気温が統計開始以降初めて40℃を超えるなど、上越で暮らす私たちにとっても地球温暖化は身近に感じられる問題となってきています。

地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの排出を実質ゼロとする「脱炭素社会」を実現していくため、今号と次号の2号にわたり、「脱炭素社会」に向けた取り組みについて取り上げます。



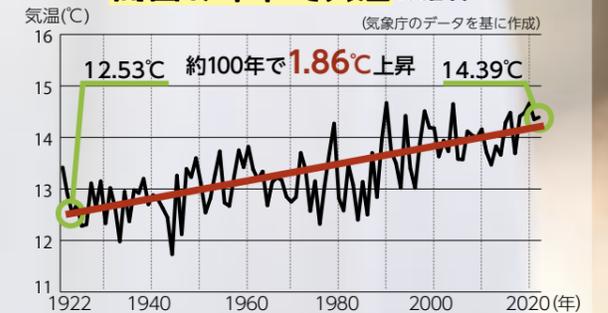
「脱炭素」って何?

温室効果ガスの「排出量」から、植林・森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることです。



出典:環境省脱炭素ポータルホームページ

高田の年平均気温の推移



地球温暖化の影響は、年平均気温の上昇や夏の猛暑日の増加など、気象データが示すもの他にも、農作物の収量・品質への影響や高田城址公園の桜の開花時期の早まりなど、身の回りのいろいろなところにさまざまな形で現れてきています。

私は、地球温暖化に関する講座などでお話をするとき、「歯磨きのときに水を出しっぱなしにしない」、「電気はつけっぱなしにしない」など、エネルギーの無駄遣いを減らすため「あなたがこれまでできていないことを何か一つ、まずは一日取り組んでみてください」とお話ししています。

私たちの子や孫が、この先も上越の豊かな環境の中で今と変わらずに暮らしていけるように、今を生きる私たち一人一人が日々の取り組みを積み重ねていきましょう。

緑豊かなこのまちを次の世代に



新潟県地球温暖化防止活動推進員 青木 ユキ子 さん